

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成27年度)

調査表

施設名	宮崎港マリーナ施設 宮崎県サンビーチーツ葉
指定管理者	マリンパークス
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指標	H27	H26	H25	増減理由等
年間利用者数(人)	283,300	241,400	269,700	「水平線の花火と音楽6」や「FREEDOM aozora 2015 九州」等 大型イベントの定着や自主事業で取り組んでいる「サンマリーナ 宮崎ビッグフリーマーケット」等により年間の利用者が増加して いる。海水浴客については、期間中に台風等の影響で遊泳禁止 日が多かったことなどから利用者数が減っている。
海水浴期間のサンビ ーチ利用者数(人)	36,900	45,200	99,300	
コメント	海水浴期間以外の利用客の増加という課題に対し、飲食施設の通年での営業、砂の造形と花のコラボレーションをテーマとし た「サンドフラワーフェスタ」の開催など、課題の克服に努めている。また、「ーツ葉神話と花めぐり」、国際ビーチテニス大会等 マリンスポーツ大会の実施、フリーマーケットの共催等の自主事業を積極的に取り組み、利用者数の増加を図っている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H27	H26	H25	支出	H27	H26	H25
指定管理料	89,383	89,377	86,767	人件費	46,376	47,967	48,950
自主事業収入	27,565	24,455	12,809	需要費	9,490	10,568	9,767
				役務費	1,086	1,045	1,325
				委託料	15,728	15,029	12,829
				使用料等	7,820	6,104	5,254
				一般管理費	8,938	8,978	8,697
				自主事業支出	27,472	23,943	12,191
合計(①)	116,948	113,832	99,576	合計(②)	116,910	113,634	99,013
収支差額(①-②)	38	198	563				
コメント	臨海公園と阿波岐原森林公園の業務を効率的に行うためにパトロールと清掃を同時に行うことや大型機械化し人件費を抑え ることに取り組むほか、施設の修繕を可能な範囲で直営で行うなど、経費の縮減に取り組んでいる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成27年度に新たに組み込んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(毎日実施)
	保守・点検	クレーン・クルーザープル点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警備	夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修繕	トイレ修繕、ビーチ管理棟・シャワー等修繕、クルーザープルチェーン修繕、公園内砂垣改修、正面ゲート修繕等
	備品等管理	備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策	パトロールの実施(毎日)、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、マリーナ航路情報の周知、津波警報 発令時における情報伝達及び避難訓練の実施、掲示板による気象情報の提供
その他	釣り禁止区域への侵入者や夜間の不審者への指導と警察への速やかな通報の実施	
企画運営業務	サービス提供 体制整備	施設の年中無休化・開園時間延長の継続、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、マリー ナ利用者への「利用者の手引き」の配布、南ビーチ休憩施設「浜茶屋」の通年営業の継続実施
	イベント等 ソフト面充実	周辺施設や地元自治会と一体となったーツ葉神話と花めぐりの実施、マリーナ・ビーチにおける自主事業の 実施(海フェスタ、カヌーアスロン大会、ビッグフリーマーケット、サンドフラワーフェスタ等、レジャー用品・マリ ンスポーツ遊具のレンタル等)の実施、大型イベント(水平線の花火と音楽6、フリーダム)の定着
	施設設備等 ハード面充実	海の家の通年営業(海の幸提供)、AED設置及び安全教育の継続実施、掲示板の設置(マリンセンター、マ リーナゲート、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況の提供
	その他	ビーチにおいて、利用者の意見を反映した貸し出し備品(テント、椅子等)の増加
管理運営体制	利用者へ安心して安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。	
コメント	上下架クレーンの操作・運行の適切な実施、津波避難訓練の実施、夜間常駐警備の実施、マリーナ航路情報のメール・FAX での周知など適切な維持管理業務に努めている。サービス面においても開園時間延長の継続や飲食施設の通年営業による サービス提供の継続などを行っている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(園内にアンケートBOXを設置、海水浴期間中は配布 延べ 62件)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
マリーナ航路の航行禁止に関する問い合わせが多かった。	航路の状況から安全性が確保できないことを説明。
犬の糞やたばこのポイ捨てが多い	注意書きの看板設置やパトロール時のゴミ拾いの強化で対応

5 総合評価

評価コメント	期間を通じて、天候等の影響もあり利用者数の増減があったものの、平成27年度は過去最高の利用者数 であった。特に、南ビーチの休憩施設を活用した通年の飲食サービスの提供や、砂の造形と花のコラボレー ションをテーマとした「サンドフラワーフェスタ」の開催など新たな自主事業の実施・PRなどにより海水浴期間 以外の集客に努めたことが成果につながっている。 また、海水浴期間のビーチの適切な人員配置により事故発生を未然に防止するなど利用者の安全確保に 努めていることなどから、全般的に施設の管理運営は適切に行われている。
今後の課題と対応	マリンスポーツを中心とするマリーナやビーチのサービス提供を行い、利用者等への満足度向上に努め、年 間を通じた更なる利用促進を図る必要がある。